教育

kyoiku@tokyo-np.co.jp

（木曜・土曜掲載）

家庭科のとらえ方

（複数回答、単位は%）

	男性	女性
男女とも関心ある分野	52.9%	44.8%
女子向き	28.5	50.8
男子に特に必要	8.5	1.3
男女とも必要だが家庭が優先	17.2	2.9
家庭が優先	2.9	0.2

（文部科学省調査）

高校で男女必修化20年

「教員によって学習に差」指摘も

私立高中退 経済的理由は過去最少

無償化の方針 12年度 私塾進学へ

オレたち 家事実習中

いま 子どもたちは No.730

家庭科男子 1

● 「おやじのせなか」公募します。記事への感想、教育に関する疑問を募集します。eds@nsmh.com または FAX03・3562・4809へ。

ニュースでQ

提供 日本語・読解力検定協会 http://www.gn-shiken.jp

ニュースからのクイズです。Q1の（ ）は歴代最多（万）、Q2の（ ）は歴代最高、Q3の（ ）は政府が導入を考える新しい働き方で、選択こう呼ばれます。

Q1 天文学ファンを楽しませる「惑星ツイン（ ）」の連夜で最高を更新した。（ ）連夜は3回目で5年ごと訪れ、年間平均約7万人が口にするなどでも話題に。

Q2 労働時間に関係なく賃金が一定にならないかの（ ）の廃止を巡る法案は、山一ボリュームで膨大な分、連夜の約2倍から大きく増加。3月時点で約1万人ものかかる可能性がある。

Q3 「残業代ゼロ」の法案は、Q2を発端とする「裁量労働制の拡大」と、Q1で話題の「（ ）の導入」を同時に進める方針で検討された。